

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和 5 年 6 月 21 日（水）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 2 時 06 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎中村 清志 ○田中 勝文 新開 広恵
出町 譲 埜田 悦子 林 貴文
本田 利麻 福井 直樹 金森 一郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
- 〔議長〕 中川 加津代
- 〔副議長〕 酒井 善広
- 〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（橘福岡駅前土地区画整理推進室長が病氣療養のため欠席）
- 〔委員外議員〕 なし
- 〔事務局職員〕 笹島 永吉 高嶋 史恵 吉本 昌史
- 〔傍聴者〕 1 名

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 36 号 令和 5 年度高岡市一般会計補正予算（第 2 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 40 号 高岡市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例を定める条例及び高岡市産業集積促進条例の一部を改正する条例
- 議案第 45 号 工事請負契約の締結について（下伏間江福田線土留その 3 工事）
- 議案第 46 号 工事請負契約の締結について（下伏間江福田線土留その 4 工事）
- 議案第 47 号 工事委託契約の締結について（城東一丁目大野 1 号線（大野陸橋）橋梁補修・耐震補強工事委託）

及び

- 議案第 49 号 市道路線の認定及び廃止について

以上、予算議案 1 件、条例議案 1 件及びその他議案 4 件の計 6 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 36 号のうち、道路新設改良費について】

- カーボンニュートラルの取組として、舗装工事に中温化合物を使用するための予算を計上しているが、現在の状況と今後の予定は。
- △ 中温化合物による舗装工事は現時点では実施しておらず、予算の了解を頂ければ令和 5 年の夏以降に、新高岡駅の周辺駐車場において施工したいと考えている。

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔上下水道局〕

- 。令和 4 年度高岡市水道事業等の業務概要及び決算概要について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 。次回の本委員会の開催について
7 月 21 日（金）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から次のとおり質疑等があった。 〉

【高岡テクノドーム別館について】

- 県議会において、知事が「設計を含めて一度立ち止まって、検討する必要がある」と答弁されたことを受け、先日の本市の本会議においても関連する質問がなされた。本市議会の質問の通告締切後に県議会でも答弁された内容もあることから、改めて本市の受け止めと今後の方向性について伺いたい。
- △ 先日の本会議では、知事の発言等を踏まえた上での受け止めについて、市長から答弁させていただいた。本市としては、これまでの経緯や現在の基本計画を踏まえた上で、北陸新幹線や高速道路網の整備が進んだ県西部地域の交通の要衝にあるという特徴を活かしていただき、1 日も早く県西部地域の方々に活用していただける施設として整備されるよう、引き続き、県へ要望していきたい。
- 高岡テクノドーム別館については、これまでも経済界や関係団体を交えた懇談会等で議論を積み上げてきた要望内容となっているが、早期の着工、完成を焦るばかりに、議論がなおざり、おざなりにならないよう努めていただきたい。（要望）

【「高岡の水」のアルミボトル化について】

- アルミボトル化の予定について、デザインの決定は令和5年の夏頃で、商品化されるのは12月とのことだが、12月は寒いので水の需要は非常に少ないのでは。もう少し早めることはできないのか。
- △ 商品は、上下水道局で製造しているわけではなく、ボトリング会社に委託しなければならない。いろいろな事業所のものを混在するわけにはいかないため、一定期間ラインを固めて製造するという状況になる。現在アルミボトルを製造しているメーカーは2社あるが、おおよそ2月と9月が製造時期であり、最短で12月に商品化となる。メーカーの都合もあるため、このスケジュールはやむを得ない。夏に商品化するには2月に製造することとなるが、この場合は雪道で水を運搬しなければならない、厳しい状況である。
- 現在のペットボトルの商品の在庫については、ある程度は消費できる予定となっているのか。
- △ 本会議でも答弁したとおり、イベント等で活用している。また、アルミボトルについては、自動販売機での販売について、サプライをどのように行うのか、金銭管理をどうするのかという点も含め、現在さまざまな検討をしている状況である。
- 本会議の答弁では、市役所への自動販売機の設置を検討中とのことだった。市民にも購入していただきたいが、どちらかと言えば観光客向けだと思っているので、駅周辺や観光地への自動販売機の設置も検討してほしい。（要望）
- 市役所にはすでに自動販売機が設置されており、その中で水も販売されている。棲み分けをどのように図っていくのか。
- △ 自動販売機は、単独で導入する手法と、他の飲料メーカーの商品と混在して販売する手法があると思うが、それぞれ維持管理の問題やメンテナンスの問題等があるため、よく議論したい。まずは回収ボックスとあわせた形で、リサイクルの実践というテーマのもと導入し、可能であれば設置を広げることができればと考えている。

【高岡七夕まつりについて】

- 本市からの補助金の額は。
- △ 高岡七夕まつりの予算は、末広開発株式会社まちづくり事業部に対する委託事業費として執行しており、令和5年度は約630万円となっている。
- この金額は、財政健全化緊急プログラム以前と比べると、減少しているのか。
- △ 財政健全化緊急プログラム以前の金額については、高岡七夕まつりと高岡なべ祭りの金額をあわせた予算額しか持ち合わせていないため、高岡七夕まつりに限定した回答はできないが、他部局のイベントや祭りなどと同様に、財政健全化緊急プログラム時に2割の減額となっている。
- では、5年度と4年度を比べるとどうなのか。
- △ 同額となっている。
- 財政健全化緊急プログラムで2割の減額となって以降は、同額で推移しているのか。
- △ 2割の減額以降は大きな変動はない。

- 昔に比べると、七夕の本数が少なくなっているように感じる。七夕の本数など、高岡七夕まつりの規模感がわかる数値はあるのか。
- △ 七夕の全体の本数については把握できないが、令和4年から、コロナ禍でも高岡七夕まつりを頑張って開催していこうと、大型七夕の設置を再開しているところであり、その大型七夕の本数については、近年、大きく変わっていない。
- コロナが収束に向かいつつある中で、やはり賑わっている様子を見てみたい。観光客に対しても、賑わっている高岡を見せることが大切になってくると思う。今後とも賑やかな高岡のまちづくりのため、金銭面でのサポートや企業への呼びかけも含め、取り組んでいただきたい。(要望)
- 高岡七夕まつりの委託料は約 630 万円であるが、戸出七夕まつりの委託料は 60 万円を切っているの、その点も考慮いただきたい。(要望)

【戸出商店街の街路灯について】

- 戸出商店街の街路灯について、年数が経って折れたり落下したりする事態が生じているが、そのような事態についての相談は何件ほど寄せられ、どのような対応をとったのか。
- △ 令和3年に、戸出商店街の街路灯の落下についての相談を受けている。その後の対応については、商店街の方々や商工会の方々を含めた関係者と協議している。
- 戸出七夕まつりには、毎年 10 万人ほどの観光客が訪れている。その際に落下などすると大変な事故に繋がりがねないため、素早い対応が求められる。戸出商店街だけでなく、各商店街の連盟に加盟している商店は徐々に減少しており、商店街だけで街路灯を新たに設置したり修繕したりする経済的な力はないと思っている。本市として何らかの支援が必要ではと考えるが、そのような補助メニューはあるのか。
- △ 高岡市産業集積促進条例のメニューで対応できるが、補助率は 30%で、70%は商店街の負担となっている。
- 積極的に関わっていただきたい。市内には多くの商店街があり、どこも同じような課題を抱えていると思う。弱ってきている商店街に対して、しっかりとした支援をお願いしたい。(要望)

【新たな商業エリアの整備について】

- 井口本江の県道 57 号高岡環状線沿いにて新たな商業エリアの整備が進んでいるようだが、車の混雑や近隣の商業施設への影響について気掛かりである。整備の進捗状況等について把握していれば伺いたい。
- △ 新たな商業エリアの整備については報道を通じて承知しているが、その進捗に関しては民間開発により把握していないため回答できない。

【高岡まちなかスタートアップ支援施設 T A S U について】

- 市営御旅屋駐車場は 1 時間無料となっているが、T A S U で 2、3 時間ゆっくり過ごす数百円の駐車料金が発生してしまう。何かしらの工夫はできないのか。
- △ T A S U には相談コーナーとシェアラウンジがある。シェアラウンジは民間企業

が経営している有料のエリアであり、本市では無料のエリアである相談コーナーについて業務委託している。相談コーナーに来られた方に対しては駐車券を配っている。なお、6月からシェアラウンジを経営している民間企業が実証実験として、利用時間に応じて最大3時間分の駐車券を配っている。

- T A S Uがオープンして数か月経過したが、これまでの利用状況は。
- △ 3月からの相談件数は合計162件である。5月については、イベントやセミナーが7回開催されており、それらの利用者数は合計151人である。また、施設内の見学については82回で合計257人が参加している。
- 相談件数と利用者数は一致しないのか。
- △ 相談件数162件とは、起業や販路開拓の相談に来られた件数で、6月12日までの実績である。利用者数151人とは、5月のセミナーやイベントに参加された人数で相談に来られた件数ではない。
- シェアラウンジの利用者数については把握しているのか。
- △ あくまで民間企業が経営しているエリアであるため、利用者数や売上金額について報告は受けていない。
- T A S Uには入居することもできるのか。
- △ 現在のところT A S Uは定期で入居できる施設とはなっていない。
- 相談後に実際に起業した事例や、今後起業しそうな事例はあるのか。
- △ 起業に向けて形になりそうなものが何件かある。具体的な内容については回答しかねるが、7月に開業を予定している店舗があると聞いている。
- その店舗ができるのは、まちなかと郊外のどちらなのか。T A S Uでの支援は、まちなかの空き店舗などの活用を目指していると認識しているが。
- △ まちなかを予定しておられる。まちなかでの開業を期待しているところではあるが、それを条件に支援しているわけではない。

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２８名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	梶 本 敏 規
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	江 尻 典 世
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	森 川 朋 子	土木維持課長	割 田 一 郎
農業水産課長	永 井 正 之	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	車 忠 宏	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	堺 啓 央	上下水道局次長	五 十 里 康 夫
		上下水道局参事	川 渕 利 直
		総務課長	亀 岡 勝 彦
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	寺 井 義 則
		施設維持課長	高 林 隆